2021/2/1
情報センター

ユーザーアカウントの権限と役割について

主に以下のように割り当てています。

システム管理者（admin）：情報センター
コース管理者（author）：講義担当教員
ユーザー（user）：履修している学生

ユーザアカウントの種類と役割について

WebClass 上で行うことができる操作は割り当てられたユーザ権限（種類）によって異なります。管理者はユーザ権限を適切に設定しなければいけません。

導入されているシステムによっては、権限ごとのできることが異なる場合があります。

	Admin	Author	TA	SA	Observer	User	Guest
アカウント作成	○	×	×	×	×	×	×
コース登録	○	×	×	×	×	×	×
システムの保守	○	×	×	×	×	×	×
コースメンバー登録	○	○	○	×	×	×	×
資料作成	×	○	○	○	×	×	×
課題作成	×	○	○	×	×	×	×
教材受講	×	○	○	○	○	○	○
出席管理	×	○	○	×	○	×	×
出席確認	×	○	○	○	○	×	×
採点・成績管理	×	○	×	×	○	×	×
成績確認	×	○	×	×	○	○	○
コースのバックアップ	×	○	○	×	×	×	×
お知らせの発行	○	○	○	×	○	×	×
メッセージの送受信	○	○	○	○	○	○	×

まず、システム管理者（Admin）はユーザアカウントとコースを作成し、各コースにコースメンバーとしてユーザを割り当てます。

次に コース管理者（Author）は割り当てられたコースに教材を作成します。そして、教材を実施し、成績データを管理します。

なお、特定のコースメンバーに授業補助をしてもらうため、システム管理者とコース管理者は TAや SAへユーザのコース権限を変更することができます。TA はコース管理者の代理としてコース運営を行うことができます。また、SA は授業を円滑に進めるアシスタントとして教材を実施します。Author や TA、SA は上のコース権限が付与されています。デフォルトの設定から変更された場合、「Author（その他）」と表示されます。

オブザーバー（Observer）は教務などの学校職員が使用します。学校運営に関する連絡を WebClass ユーザに通知することができます（この時、システムオブザーバーとしてお知らせを発行します）。

ユーザ（User）はコースメンバーに登録されているコースで教材を受講することができます。公開講座などのように ゲストユーザ（Guest）にも公開された一部の教材は、ユーザアカウントがなくても受講することができます。

各アカウントの権限詳細は Author の画面の「メンバー」より、「登録/変更/削除」をクリックし、各ユーザーの「権限の詳細」でご確認頂くことが可能です。

「権限の詳細」画面では各機能を個別に権限の付与・剥奪ができますが
管理の煩雑化により問題が発生する可能性がありますので、個別での権限設定はお勧めいたしません。